

# ち わたしん家の食事から

## 【カードゲーム版】

滋賀県内に住む外国出身の方々の協力のもと

世界の食文化について学ぶため

2006年に開発した教材

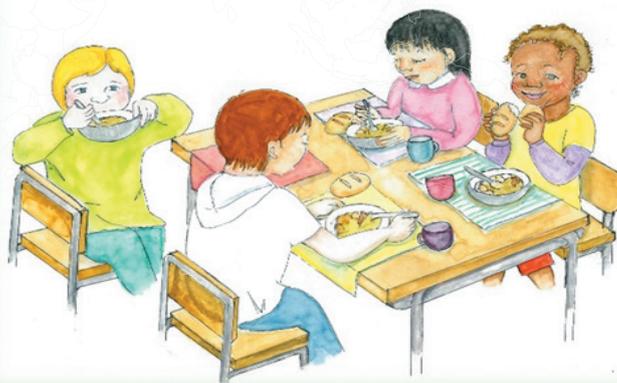
「わたしん家の食事から」を

今回、より使いやすく**“カードゲーム版”**として

**リニューアル**しました。

国際教育、人権教育などの授業や講座など

幅広くご活用ください。



対象：小学校中学年以上

### この教材のねらい

1. 世界の豊かな食文化について学ぶことができます。
2. 多様な文化について、もっとも身近な食文化を通して、異文化に遭遇する（カルチャーショックの）機会をつくります。
3. 異文化にふれることで、自国文化の独自性や特異性、また世界の文化との共通性を見いだします。
4. 日本で暮らす異なる文化背景をもつ人たちが、日本の文化について、どのように考え、感じているかを客観的に見いだします（先入観、ステレオタイプに揺さぶりをかけます）。
5. 日本の食文化を受け入れられず困惑している外国にルーツを持つ児童生徒の気持ちを理解するきっかけとします。



### 【紹介している国】

中国、韓国、バングラデシュ、エジプト、イタリア  
ドイツ、アメリカ、ブラジル、ニュージーランド

1セット **2,000** 円 (税込)

【滋賀県国際協会 会員価格 1,800 円(税込)】

### 【セット内容】

- 情報シート …… (9種 × 1枚)
- 穴うめ情報シート …… (9種 × 1枚)
- 絵カード …… (54枚 × 6セット分)
- 解説書 … (絵カード マスター原稿含む)

お問合せ先

(公財) 滋賀県国際協会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2階  
電話 077-526-0931 FAX 077-510-0601  
E-mail : info@s-i-a.or.jp URL : http://www.s-i-a.or.jp

## カード合わせ “わたしん家の食事から” (2時間)

① 配られた穴うめ情報シートに、答えを予想して書き入れる。(個人作業)

② 予想した答えを参考にしながら、グループごとに情報シートに当てはまる内容の絵カードを順番に取る。(グループ作業)

グループ全員がそれぞれ6種類のカードをそろえられるよう相談しながら、協力して活動する。

③ 答え合わせ・ふりかえりを行う。



ブラジルは暑い地域が多いので、生ものを食べる習慣があまりないそうです。



主食がお米だった情報シートを持っていた人は手を挙げてみよう！  
たくさんの国でお米が食べられているんだね。

## 子どもたちの感想 わかったこと、驚いたこと、疑問に思ったこと、もっと調べたいこと



- バングラデシュでも米を食べるんだなあと思った。
- 外国の人は、ほとんど手で食べていると思っていたけど、違いました。
- みんなと世界を学ぶことができたから、今日は楽しかったです。
- 近い国でも違うことがたくさんあった。当たり前なのが違ったりしたから、もっと知りたい。
- 宗教によって、どのような違いがあるか知りたい。
- なぜ、ほかの国はお箸を使わないのかが疑問。
- 世界の服、気候、建物なども調べてみたくなりました。



## 実践者より

この授業の翌日、米を主食とする国々や世界の挨拶の言葉、イスラム教などについて自主的に調べてきた子どもたちがいました。今回の授業が、子どもたちの好奇心を駆り立て、調べる意欲へつながったのだと実感しました。また、子どもたちが「ちがい」を肯定的に捉えられる姿はすばらしいと感じたので、今後も、世界の多様な文化について関心を高め、ちがいを尊重できる姿勢を育むような活動を試みたいと思います。

実践者：永井 しのぶ